**実務セミナー**　関連部署にご回覧ください

文系出身者や営業・購買担当など設計製図を専門で学んだことがない方に最適！！

# はじめて学ぶ初心者のための「基礎からわかる図面の読み方」

## ～商談・打合せでの議論に取り残されないために必要なこと～

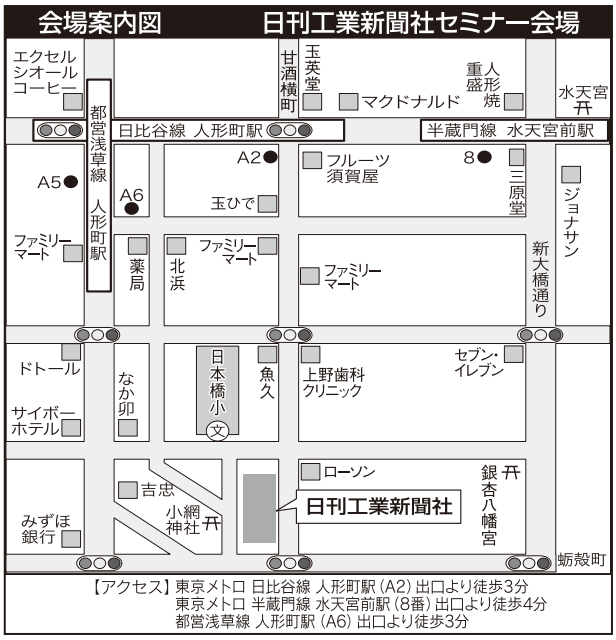
**日時** 2018年2月19日（月）10：00～17：00
（9：30受付開始、休憩 11：45～12：45）

**主催** 日刊工業新聞社

**会場** 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム
東京都中央区日本橋小網町 14-1（住生日本橋小網町ビル）

**受講料** 43,200円（資料含む、消費税込）

※2月20日「基礎からわかる加工材料」2月21日「基礎からわかる機械加工」両セミナーとのセット受講がおすすめです。
3日連続受講：90,720円（3割引）　2日受講：69,120円（2割引）　注）同一受講者による受講が適用条件となります。




**日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム**
東京都中央区日本橋小網町14-1（住生日本橋小網町ビル）
【アクセス】
東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分、都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分
東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分

**●申込方法**

お申し込みはWeb（http://corp.nikkan.co.jp/seminars/）かFAXまたは郵送にて受け付けております。申込受付後、受講票と請求書をお送りいたします。受講料は銀行振込にて開催の前日までに必ずお支払いください。尚、お支払い済みの受講料はご返金できかねますので、ご了承ください。振込手数料は貴社でご負担ください。

| 口座名義 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ㈱日刊工業新聞社 | りそな銀行 | 東京営業部 | 当座 | 656007 |
| | 三井住友銀行 | 神田支店 | 当座 | 1023771 |
| | みずほ銀行 | 九段支店 | 当座 | 21049 |
| | 三菱東京UFJ銀行 | 神保町支店 | 当座 | 9000445 |

**●申 込 先**　日刊工業新聞社 業務局 イベント事業部 技術セミナー係
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1（住生日本橋小網町ビル）
TEL 03（5644）7222　FAX 03（5644）7215
e-mail：j-seminar@media.nikkan.co.jp

---

**受講申込書**　2/19 **基礎からわかる図面の読み方**　お申し込みは FAX **03-5644-7215**

■受講料：43,200円（資料含む、消費税込）　※振込手数料は貴社にてご負担ください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 会社名 | | 業種 | |
| 氏名 | フリガナ | 部署・役職 | TEL |
| 所在地 | 〒 | | FAX |
| | E-mail： | ※今後、E-mailによるご案内を希望しない方はチェックをしてください。 | □ |

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。
※一度お振込みいただいた受講料につきましては、ご返金できかねますのでご了承ください。

No.170315

**個人情報の取り扱いについて**
ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター　情報事業部　nkmail01@nikkansc.co.jp

# 開催主旨

ものづくりは、何をつくるかを「考え」、考えたとおりに「つくり」、そして「売る」の3ステップです。この「考えたことを伝えるツール」が図面です。どのような形なのか、その大きさや、狙いの寸法に対して許されるずれを表す公差、表面の滑らかさなどの情報を図面で伝えます。この図面どおりにつくるのが現場ですが、図面を読むのは加工者だけではありません。資材購買は図面を見て社内加工するのか、外注するのかを判断します。生産管理は、図面から生産計画を立案します。品質管理では図面が合否の判定基準です。また営業担当者は図面を見ながらお客様と仕様を打ち合わせます。このように図面を読む作業は多岐にわたります。しかし、文系出身の方が多くおられる間接部門の担当者が、系統だって図面の知識を習得する機会は少ないのが現状です。

そこで、本セミナーははじめて図面の知識を学ぶ方や、これまで得た知識を整理したい方を対象に立体モデルを手にしながら、演習も踏まえて基礎からお伝えします。予備知識の無い方も安心してご参加ください。

なおものづくりに必要な三大基礎知識（読図・材料・加工）を習得するために、2月20日開催の『はじめて学ぶ初心者のための「加工材料の基礎知識」』と2月21日開催の『はじめて学ぶ初心者のための「機械加工の基礎知識」』も併せて受講することをお奨めします。

**受講対象者**
・新卒者
・資材購買、生産管理、品質管理、営業の担当者
・図面の基礎を学び直したい方

**得られるスキル**
1）「立体の形をイメージする」手順をつかむ。
2）「図面にあらわされた情報の読み方」を習得する。

## 講　師

ジン・コンサルティング代表　生産技術コンサルタント　**西村　仁** 氏

［略歴］ 1985年に立命館大学理工学部機械工学科卒業後、村田製作所に入社。生産技術部門で21年間、電子部品の組立装置や測定装置等の新規設備開発を担当し、村田製作所グループ全社への導入多数。製品特許、および機構特許を多数保有。生産工程設計、工程改善、社内技能講師にも従事。2006年に立命館大学大学院経営学研究科修士課程修了。
2007年に独立し、製造業およびサービス業での生産性向上支援、および技術セミナー講師として教育支援を行う。経済産業省プロジェクトメンバー、中小企業庁委員等歴任。
著書「図面の読み方がやさしくわかる本」（日本図書館協会選定図書）、「図面の描き方がやさしくわかる本」、「加工材料の知識がやさしくわかる本」「機械加工の知識がやさしくわかる本」（以上、日本能率協会マネジメントセンター）、「基礎からよくわかる品質管理と品質改善のしくみ」（日本実業出版社）。

## プログラム

**1. なぜ図面は必要なのか**
- 1.1　工業製品と工芸品の違い
- 1.2　図面が果たす役割
- 1.3　図面ルールは国家規格

**2. 立体をどのようにあらわすのか**
- 2.1　なぜ図面に立体図を使わないのか
- 2.2　正面から見る視点
- 2.3　第三角法を演習で理解する（個人演習）

**3. 形をイメージする**
- 3.1　木彫りの考え方を使う
- 3.2　演習で理解を深める（個人演習）

**4. 図面用紙の構成と寸法表示の読み方**
- 4.1　図面サイズと尺度
- 4.2　寸法記入法の違いを理解する
- 4.3　便利な寸法補助記号

**5. 公差の読み方**
- 5.1　数値であらわす「寸法公差」と「普通公差」
- 5.2　記号であらわす「はめあい公差」
- 5.3　形が対象の「幾何公差」

**6. 表面粗さの読み方**
- 6.1　表面のなめらかさをあらわす
- 6.2　いまも旧記号が使われている表面粗さ

**7. まとめと質疑応答**

＊セミナー当日は鉛筆、消しゴム、ものさしをご持参ください。

※使用テキスト
本セミナーでは「図面の読み方がやさしくわかる本」（日本能率協会マネジメントセンター）をテキストとして使用します。
受講者へは開講当日、進呈いたします。